

## 国宝高松塚古墳壁画保存管理施設（仮称）基本構想について

令和元年度に修理を完了した国宝高松塚古墳壁画および石材の保存管理施設（新施設）について、令和2年度には基礎調査を実施するなど準備を進めてきたが、令和3年度は基本構想をまとめるべく、本検討会の下にワーキンググループを設置し検討を行っている。（設置要項・メンバーは参考資料のとおり）

### ○第一回 令和3年6月1日（火）

議事 高松塚古墳壁画の保存にかかる事業経緯

基本構想の検討の進め方

基本構想のための調査計画の検討

基本構想検討の進め方や検討項目、新施設の展示・活用に参考となる事例調査計画について議論を行った。

### ○第二回 令和3年8月6日（金）

議事 基本構想骨子案の検討

事例調査の中間報告

基本構想骨子案を提示し、とくに諸室機能の検討や壁画・石室石材保管室における展示方法、常設・企画展示の項目などについて議論を行った。

諸室機能の検討では、過去の検討会やワーキンググループで行われた議論をもとに、①保存・修理・管理、②調査・研究、③展示、④教育・普及、⑤人材育成、⑥国内外とのネットワーク構築、⑦情報発信、の事業活動（図1）を周辺施設や関連組織との連携も含めて展開することを念頭に議論を行った。各委員からの指摘を踏まえて、表1のとおり諸室の目的・機能をまとめた。

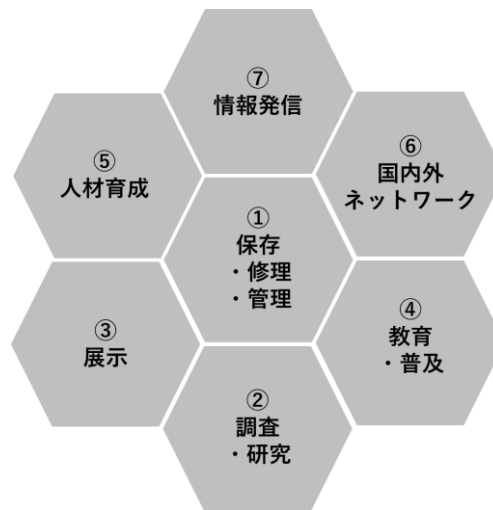


図 1 展開する事業活動

表 1 国宝高松塚古墳壁画の保存活用に必要な施設機能

部門	室名	目的・機能
保存・ 修理・ 管理	壁画・石材保管室 (前室・作業室含む)	壁画と石材を展示しながら安定した環境で保存する 継続的なメンテナンス機能を有する
	壁画・石材保管室専用機械室	壁画・石材の保存に最適な環境を維持する
	収蔵庫	高松塚古墳出土資料を集約させる 出土資料・剥ぎ取り標本など高松塚古墳に関連する資料を適切な環境で保存する
	トラックヤード	借用資料の安全な搬入・搬出
調査・ 研究	調査研究室 (学芸室・機器分析室・図書室などの機能を持つ)	高松塚古墳をはじめとする我が国の壁画に関する調査研究 ・保存修理のための調査研究 ・考古学・美術史学的研究 ・壁画を墳丘に戻すための調査研究 ・展示活用に関する研究
	在外研究者研究室	国内外の関連研究者が共同研究を行う

展示	常設展示室 (準備室・作業室)	高松塚古墳および壁画の保存の歴史を伝える 古墳・壁画の魅力、学術的な重要性を常時伝える
	企画展示室	高松塚古墳や関連する幅広いテーマで調査研究の成果を伝える
教育・普及	ワークショップルーム オリエンテーションルーム (スタッフ控室、資材室)	古墳・壁画を身近にとらえていただく ・体験講座 ・レクチャー、ミュージアムトーク
交流	エントランスホール ガイダンス展示 ミュージアムショップ	高松塚古墳壁画展示への導入 パネル展示・グッズによる来館者への効率的なPR 屋外環境のバッファー機能
一般管理	事務室	施設の管理運営 防災・防犯管理

※ 具体的な機能は周辺施設との相乗効果などを考えて検討

## 古墳壁画の保存活用に係る調査研究について

平成22年4月1日

文化庁長官決定

一部改正 平成24年7月2日

一部改正 平成27年3月2日

一部改正 平成29年6月12日

一部改正 平成30年10月1日

一部改正 令和3年3月22日

## 1. 目的

高松塚古墳壁画及びキトラ古墳壁画の適切な保存活用を行うために必要な事項等を調査研究する。

## 2. 調査研究事項

- (1) 高松塚古墳壁画の保存活用に関する事項
- (2) キトラ古墳壁画の保存活用に関する事項
- (3) その他古墳壁画に関する事項

## 3. 実施方法

- (1) 2. の調査研究を行うため、有識者で構成する「古墳壁画の保存活用に関する検討会」（以下「検討会」という。）を置く。
- (2) 高松塚古墳壁画保存管理公開活用施設（仮称）の設置に関する検討等について専門的に調査研究するため、検討会に新施設ワーキンググループ（以下「ワーキンググループ」という。）を置く。
- (3) 検討会及びワーキンググループの委員は、2. に関する学識経験者等のうちから、文化庁長官が委嘱する。
- (4) ワーキンググループは、検討会の委員のほか専門委員をもって構成する。
- (5) 検討会及びワーキンググループは、互選により座長を選出する。座長に事故があるときは、あらかじめその指名する副座長が、その職務を代理する。
- (6) 検討会及びワーキンググループには、必要に応じて委員以外の学識経験者等の出席を求めることができる。

## 4. 庶務

この調査研究に関する庶務は、文化資源活用課古墳壁画室が行う。

古墳壁画の保存活用に関する検討会  
新施設基本構想検討ワーキンググループ委員

(令和3年4月1日現在)

(敬称略、五十音順)

(委員)

- |       |  |
|-------|--|
| 石橋 茂登 | 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所<br>飛鳥資料館学芸室長 (専門委員)          |
| 上北 恭史 | 筑波大学大学院人間総合科学研究群<br>世界文化遺産学専攻 教授 (専門委員)            |
| 小林 牧  | 独立行政法人国立文化財機構文化財活用センター<br>副センター長 (検討会委員)           |
| 佐藤 嘉則 | 独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所<br>保存科学研究センター生物科学研究室長 (専門委員) |
| 染川 香澄 | ハンズ・オン プランニング 代表 (検討会委員)                           |
| 中村 孝  | 国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所長<br>(検討会委員)                |
| 増記 隆介 | 東京大学大学院人文社会系研究科 准教授 (専門委員)                         |

(計7名)